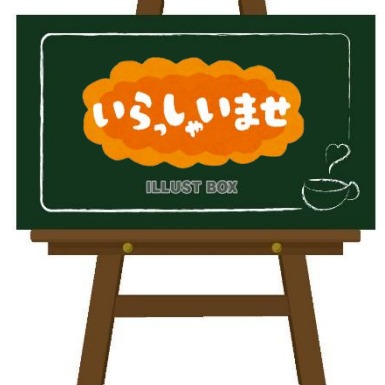
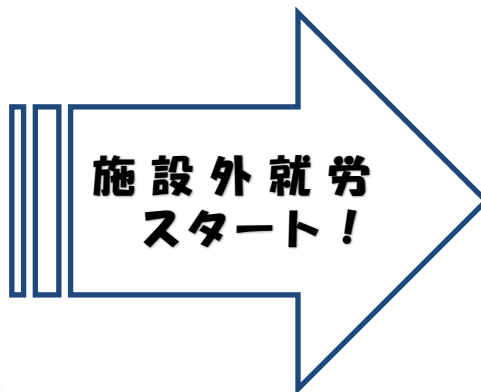


No.64 ナイスショット!!



ことし3がつ こうとうぶ そつぎょう 4めい ほう せいかつかいごじぎょう なか くんれんはん むかえいれ しんねんど
 今年3月に高等部を卒業された4名の方を“生活介護事業”の中の「訓練班」に迎え入れ、新年度が
 はじまりました どうじ ふくし かん1かい きっさおるごーる ちーむ
 始まりました。と、同時に、はるかぜから福祉ぱれっと館1階にある「喫茶オルゴール」へ、チームを
 くんでおしごと しせつがいしゅうろう いく
 組んでお仕事（施設外就労）に行くことになりました。

きっさおるごーる とくていひえいりかつどうほうじんしゅう しゃしえんねつと しょうがい ひと しゅうろう しえん
 喫茶オルゴールは、特定非営利活動法人障がい者支援ネットかすがが、障害のある人の就労を支援
 もくてき きっさじぎょう しゃかいふくしほうじん ふくしかい
 することを目的に喫茶事業をおこなっているところですが、今年4月から社会福祉法人はるかぜ福祉会
 ぎょうむいたくたくう けりょうしゃ かた3めい しょくいん1めい げつ すい きん か もく ちーむ わかれ きっさ はんばい
 が業務委託を受け、利用者の方3名と職員1名が月・水・金と火・木の2チームに分かれ、喫茶と販売
 ぎょうむ
 の業務をおこなっていきます。

せいかつくんれん あいさつ れんしゅう しごと とおしてくんれん ほうこく そうだん かくにん
 はるかぜの生活訓練でおこなっていた挨拶の練習や、仕事を通して訓練してきた、報告・相談・確認
 きっさ こられるおきゃくさま たいおう なか はっき おもいます
 などが、これからは喫茶に来られるお客様への対応の中で発揮されていくことと思います。

1 げつかん じゅんぴ おえ 5がつ しょくいん せいちょう
 1ヶ月間の準備を終え、5月から職員とともに はたらき・よろこび・そして、成長していきます。

みなさん ごりかい ごしえん おねがい きっさおるごーる おこし
 皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。どうぞ喫茶オルゴールへお越してください。

身近な総合スーパーでお馴染みの「イオン」。

このイオン株式会社では、様々な社会貢献活動に取り組まれています。

その中で、毎月11日の「イオン・デー」に実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客様がレジ積算時に受け取られた黄色いレシートを、地域活動団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンさんが各団体に寄贈くださる取り組みです。

サポートを必要としている地域活動団体と、「応援します！」というお気持ちをお持ちのお客さまを結んでくださるこの取り組みに、はるかぜも参加しています。

活動参加団体には、半期に一度集まったレシート総額の1%のギフトが贈呈されます。

イオン大野城店では、2014年9月～2015年2月までの活動について報告があり、4月11日（土）にイオンギフトカードの寄贈をいただきました。また、ダイエー下大路店（イオングループ）でも、2014年10月～2015年2月までの活動について4月19日（日）にハートポイントカードの寄贈が行われ、どちらも休日だったため、贈呈式には代表で所長が出席させていただきました。



イオングループの社会貢献活動と、たくさんのお客様のご理解とご支援に感謝申し上げます。



5月の11日「イオン・デー」には、イオン大野城店に3人の利用者さんと職員で、レジカウンター前に黄色いタスキを掛けBOXを持って立ち、「こんにちは、はるかぜです」「黄色いレシートよろしくお願いたします」とお客様の方へ、呼びかけをおこないました。

はるかぜを紹介するパネルも一緒に持って立っていると、お買い物の足を止めて、どういう団体なのかお尋ねして下さる方もいらっしゃいます。また、「頑張ってるね！」と励ましながら、黄色いレシートをBOXに入れてくださる方もいらっしゃいます。

持っているBOXに目の前でレシートを入れていただくと、利用者の方も、笑顔で「ありがとうございました！！」と応え、また一層元気な声を出されているように感じます。

1時間余り立って声を出しての活動ですが、皆さんいい表情をされています。

多数のお客様の中で、はるかぜの活動を知っていただける貴重な機会でもあり、利用者の方には大切な社会参加の時間となっています。

今後も、利用者の方々と一緒に、「はるかぜです！黄色いレシートお願いします！」と元気に呼びかけをおこなっていきます。

皆さん！ぜひ毎月11日はイオンへお買い物にどうぞ・・・。

今年3月に高等部を卒業された4名の新しい利用者の方を“生活介護事業”の中の「訓練班」に迎え入れ、多機能型はるかぜを利用してくださる方がみんなで27名となりました。

そこで、今年度からレクリエーションを【就労B】【生活介護】【訓練班】と、それぞれで行うようにいたしました。

😊【生活介護】 ～ゆるいな一日～

まず、トップバッターは【生活介護】で「飛行機を見に行こう！」を目的に、4月6日（月）福岡空港散策をおこないました。

時折、小雨が降るあいにくのお天気でしたが、利用者の皆さんの気持ちは・・・本日は晴天なり！

搭乗手続き待ちの乗客を横目にしながら、展望デッキへGO！
はるかぜには乗り物好きな利用者の方も多く、展望デッキでは、大きなジェット音に驚く様子もなく、間近で離着陸する飛行機を見ながら「おお～！！」「わあ～！！」と満足そうな様子でした。

利用者さん7名、ゆるいな一日を過ごしました。



😊【就労B】 ～見上げれば雨雲、見渡せば名所～

続いて、レクリエーションをおこなったのは【就労B】の皆さんです。

5月18日（月）、福岡市内を3つのコースに分けて、各観光スポットを案内して走る屋根のない2階建てバス「オープントップバスに乗ろう！」と、一番乗りたがっていた所長を留守番にして、雨が降らないことを祈りつつ、10時40分に利用者さん9名と職員3名がはるかぜを**出発！！**

今回乗った「博多街なかコース」のバスは、始発地点の福岡市役所前から12時に発車オーライ。

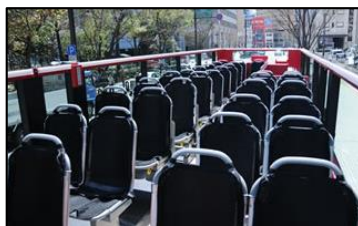
バスアナのガイドを聞きながら、博多駅→キャナルシティ前を通過→櫛田神社→博多座前を通り、大濠公園→福岡城址と走り、約1時間で福岡市役所前に戻ってきます。

日本初の国産オーダーメイドの2階建て屋根なしバスの高さ約3.2mからの眺めは、信号機や標識が間近に見え、街路樹の緑葉と一緒に、風を体全体で感じる事ができて気分爽快でした。

天神や博多の街中を走っていると、自転車で通行している方や歩いている方達が、バスを見上げてありました。中には私たちに手を振ってくださる方もいらっしゃいました。

ひときわ目立つ赤い屋根なしバスです。

降りてきた利用者のみなさんからは、「もう1回乗りたい！」という声が後を絶ちませんでした。



😊【訓練班】 ～初めてのレク・・・楽しみ！～

今年4月から利用されている「訓練班」の4名の利用者さんたちは、5月25日（月）に空港の見学レクを予定しています。生活介護の皆さんのように「ゆるいな一日」を過ごす予定です。

後日、はるかぜのブログの方でレクリエーションの様子をご報告したいと思います。

「空振り」の優しさはセーフティネットに

「空振り」は野球の打者を思い浮かべるが、最近は災害情報の提供時にも使われる。以前は、避難の必要性が弱いと情報提供が遅れ気味であったが、最近は災害の可能性があれば早めに提供され、それが「空振り」（無駄？）であっても、結果的に無事なので良しとしている。★これを、地域住民による支援が必要な高齢者への訪問・見守り活動に例えると、高齢者のなかには「お節介」「訪問不用」・・などと言う人もおり、この活動に躊躇・遠慮が生じる。それでも、粘り強く地域独自の「裏技」で何とか関わりを持ち支える活動が行われているが、この効率的効果は「空振り」になることも。でも、相手を心配するこの気持ちが、いざというときのセーフティネットになる。（まつおしげる）

ありがとうございました！！

※ご寄付 まりも工芸 様

※下村ますみ様より、手芸用毛糸の寄贈がありました。

※ボランティアの小城様より、本の寄贈がありました。

※ボランティアの平川様より、バスタオルの寄贈がありました。

※ボランティアの井上千里様より、タオルマットの寄贈がありました。



【お知らせ】

社会福祉法人はるかぜ福祉会が、6月1日（月）「指定特定相談支援事業」を開業いたします。

障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援専門員が、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、サービス等利用計画をつくり、モニタリングを行います。

対象となる方は、障害福祉サービスを申請した障害のある人（成人）又は障害児であって、市町村がサービス等利用計画案の提出を求めた方が対象です。

特定指定相談支援事業所 ドリームひこうせん
春日市昇町3丁目52番地 昇町ビル102

（やよいバス昇町1丁目バス停前）

TEL(092)558-0077

FAX(092)558-0017